



第7回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

〈実施概要〉

日程 令和4年1月21日（金）～1月31日（月）（オンライン開催 動画発表）

主催 全国ユース環境活動発表大会 実行委員会
（環境省・独立行政法人環境再生保全機構・国連大学サステナビリティ高等研究所）

後援 読売新聞社

協力 地方環境パートナーシップオフィス（EPO）／地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）／ESD 活動支援センター

協賛 キリンホールディングス株式会社／協栄産業株式会社／SGホールディングス株式会社／株式会社タニタ



受賞校のみなさん、おめでとうございます！

全国8地方の地方大会から選出された16高校（団体）が全国大会に出場しました。

今年も、新型コロナウイルスの影響で環境活動やSDGs活動が制限される中、

全国の高校生が熱心に活動を続けてきました。

発表大会は、高校生が発表動画を制作して応募。Web上で動画を発表・閲覧し、審査を行いました。

いずれの活動内容も発表もすばらしく、審査を経て環境大臣賞をはじめ

すべての出場高校に賞が贈られました。

表彰された16高校の活動をご紹介します。

👑 環境大臣賞

青森県立名久井農業高等学校

FLORA HUNTERS

視点はSDGs 節水型塩害抑制技術の開発

世界には塩類集積のため農業ができない乾燥地が広く存在します。そこで私たちは、蒸発する土壌水分の動きと製鉄業の副産物である転炉スラグを用いて、塩類集積の発生を抑制する節水型システムを開発しました。乾燥地を模したガラス温室で塩類集積を完全に抑え、作物が栽培できることを証明できました。遠く離れた南国の人たちを思い、今日も活動に励んでいます。



👑 環境再生保全機構 理事長賞

群馬県立尾瀬高等学校

理科部

地域のシカ問題を考える～私たちの取り組む4つの行動～

貴重な植生がニホンジカによる被害を受けています。今ある自然をこれからも残し、美しい景色を取り戻す活動を行っています。私たちは、「育て・増やす」「守る」「調べる」「伝える」の4つの行動をとりました。この活動を行うにあたり地域の多くの方々と関わりました。

私たちだけで解決できることは多くなく、地道に粘り強く取り組んでいこうと思っています。



👑 国連大学サステナビリティ 高等研究所 所長賞

愛媛大学附属高等学校

理科部プラガールズ

海洋性細菌を利用した海洋マイクロプラスチック汚染解消への挑戦

県内の海浜に漂着しているマイクロプラスチックの調査を行い、生分解性プラスチック化が望ましい製品について検討し、製造企業に生分解性製品化の可能性について提案しました。天日塩中から海洋性細菌を単離培養して生分解性プラスチックを合成させて海洋で分解されることを確認しました。さらに、経済的な生分解性プラスチックの生産技術の開発に取り組みました。

